

# PICTURE COMMUNICATION SYSTEM; FACSIMILE EQUIPMENT AND COMPUTER SYSTEM USED FOR THIS

**Publication number:** JP10133967

**Publication date:** 1998-05-22

**Inventor:** HOSODA SATOSHI

**Applicant:** SANYO ELECTRIC CO

**Classification:**

- **international:** G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58; H04M1/274; H04M11/00; H04N1/32; G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58; H04M1/274; H04M11/00; H04N1/32; (IPC1-7): G06F13/00; G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58; H04M1/274; H04M11/00; H04N1/32

- **European:**

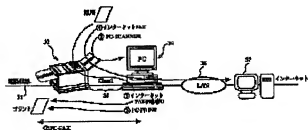
**Application number:** JP19960286860 19961029

**Priority number(s):** JP19960286860 19961029

**Report a data error here**

## Abstract of JP10133967

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a picture communication system eliminating bad conditions being the increase of the size of the operation panel part of a facsimile equipment, the complication of operation or the increase of a memory capacity. **SOLUTION:** The facsimile equipment to be connected with a telephone line 31 and the computer system 34 to be connected with internet are connected through a communication line 35 and picture data read by the facsimile equipment 32 is given to the computer system 34 through the communication line 35 to convert the picture data to an electronic mail by the computer system 34 to transmit to an opposite party through the internet, in the picture communication system. The facsimile equipment 32, at the time of transmitting through the internet, transmits an abbreviated transmission address showing the internet address of the other side to the computer system 34, which reads the internet address from a storing means based on the abbreviated transmission address to set the internet address of the transmitting destination.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide



特開平10-133967

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月22日

(51) Int.Cl.*	識別記号	F I	
G 0 6 F 13/00	3 5 1	G 0 6 F 13/00	3 5 1 B
	3 5 3		3 5 3 D
H 0 4 L 12/54		H 0 4 M 1/274	
12/58		11/00	3 0 3
H 0 4 M 1/274		H 0 4 N 1/32	Z

審査請求 未請求 請求項の数15 O L (全 11 頁) 最終頁に続く

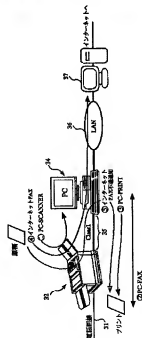
(21) 出願番号	特願平8-286860	(71) 出願人	000001889 三洋電機株式会社 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号
(22) 出願日	平成8年(1996)10月29日	(72) 発明者	細田 聡 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三 洋電機株式会社内
		(74) 代理人	弁理士 島居 洋

(54) 【発明の名称】 画像通信システム並びにこれに用いられるファクシミリ装置及びコンピュータ装置

## (57) 【要約】

【課題】 ファクシミリ装置の操作パネル部の大型化や操作の複雑化或いはメモリ容量の増大といった不具合を解消できる画像通信システムを提供する。

【解決手段】 電話回線31に接続されるファクシミリ装置32とインターネットに接続されるコンピュータ装置34とが通信路35を介して接続されて成り、前記ファクシミリ装置32で読み取った画像データを前記通信路35を介して前記コンピュータ装置34に与え、このコンピュータ装置34にて前記画像データを電子メールに変換し、前記インターネット経由で相手先に送信するようにした画像通信システムであって、前記ファクシミリ装置32は、前記インターネットによる送信を行うときに相手先のインターネットアドレスを示す短縮送信アドレスを前記コンピュータ装置34に送信し、前記コンピュータ装置34は、前記短縮送信アドレスに基づいて記憶手段からインターネットアドレスを読み出し、送信先のインターネットアドレスを設定する。



【特許請求の範囲】

を請求項2乃至請求項6のいずれかに記載のフラスミ

り装。

【請求項8】 予め登録されている複数の番号の各々に

ついて順次送信を行うように構成されており、前記番号

がフラスミ番号であればフラスミリ送信を実行

し、前記番号が短縮送信フラスミであれば前記フラスミ

装置を用いる送信を実行することを特徴とする請求

項2乃至請求項7のいずれかに記載のフラスミリ装

置。

【請求項9】 請求項1の画像通信システムに用いられ

るフラスミ装置であって、

トランセプタフラスミと前記短縮送信フラスミと

前記トランセプタフラスミと前記短縮送信フラスミと

対応させて記憶する記憶手段と、前記フラスミリ装置

から送信されてきた前記短縮送信フラスミに基づいて前

記記憶手段からトランセプタフラスミを読み出し、送

信手段と前記フラスミとを記憶する手段とが備え

られており、前記フラスミと前記トランセプタフラスミ

と、その旨の情報をフラスミリ装置の自局フラスミ

番号とともによりフラスミリ装置に送信するようにな

っていることを特徴とする請求項9に記載のフラスミ

装置。

【請求項10】 相手先の送信が実行できなかった場

合に、その旨の情報をフラスミリ装置の自局フラスミ

番号とともによりフラスミリ装置に送信するようにな

っていることを特徴とするフラスミリ装置。

【請求項11】 自局フラスミリ番号が登録されてい

ない場合、フラスミリ装置から送られてきた短縮送信

フラスミが規定になっていない場合、フラスミリ装置

から送られてきた短縮送信フラスミに対してはトラン

セプタフラスミが登録されていない場合など、不具合が

生じたと判断され、場合に、警告を発する警告手段を備

えていることを特徴とする請求項9または請求項10に

記載のフラスミリ装置。

【請求項12】 一つの短縮送信フラスミに対して複数

のトランセプタフラスミが登録できるようになってい

るとともに、前記複数のトランセプタフラスミの相手

先に順次送信を実行するようになっていることを特徴と

する請求項9乃至請求項11のいずれかに記載のフラスミ

装置。

【請求項13】 前記短縮送信フラスミと通信トラン

セプタのフラスミとを特徴とする請求項9乃至請求項

12のいずれかに記載のフラスミリ装置。

【請求項14】 前記短縮送信フラスミに付加された付

加情報を抽出し、この付加情報が所定要求に従って送信

を実行するようになっていることを特徴とする請求項9

乃至請求項13のいずれかに記載のフラスミリ装置。

【請求項15】 回線に接続されるフラスミリ装置と通信

トランセプタフラスミとを備える通信装置を介して接続されて成

り、前記フラスミリ装置で読み取った画像データを前

記通信装置を介して前記フラスミリ装置に与え、短縮送

信フラスミリ送信には、前記フラスミリ装置を用

いる送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

への送信を行うときには相手先のトランセプタフラスミ

信アドレスがインターネットアドレスの場合はこのコンピュータ装置に前記画像データを電子メールに変換し、前記インターネット経由で相手先に送信し、短縮送信アドレスがファクシミリ番号の場合はファクシミリ装置をモデムとしてファクシミリ送信するようにした画像通信システムであって、  
前記ファクシミリ装置には、前記コンピュータ装置を用いる送信を行うときに相手先のインターネットアドレス又はファクシミリ番号を示す短縮送信アドレスを前記コンピュータ装置に送信する手段が備えられており、  
前記コンピュータ装置には、前記インターネットアドレス又はファクシミリ番号を入力するための入力手段と、  
前記インターネットアドレス又はファクシミリ番号を前記短縮送信アドレスに対応させて記憶する記憶手段と、  
前記ファクシミリ装置から送信されてきた前記短縮送信アドレスに基づいて前記記憶手段からインターネットアドレス又はファクシミリ番号を読み出し、送信先を設定する手段が備えられていることを特徴とする画像通信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットを利用して原稿の送受信が行える画像通信システム並びにこれに用いられるファクシミリ装置及びコンピュータ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】ファクシミリ装置は、電話回線等を用いて文書情報を電気的に遠隔地に伝達する手段であり、デジタルスキャナ等を用いて原稿情報を読み取り、符号化圧縮処理して送信することを基本構成としている。しかし、近年では、パーソナルコンピュータやワードプロセッサ等のコンピュータ装置で作成した文書情報を直接ファクシミリ送信するためのファクシミリボード等が開発され、これらコンピュータ装置、ファクシミリボード、及びファクシミリ装置間のインターフェースが標準化されてきている（EIA規格 Class 1, 2等）。それに伴って、これら標準インターフェースに準じた汎用ファクシミリ装置アプリケーションソフトウェアが供給されるようになっている。

【0003】図4は、上述のようにファクシミリ装置100とコンピュータ装置101とを接続した状態を示す説明図である。このようなシステムを構築することにより、例えば、以下の①～④の機能を得ることが可能となる。

【0004】①スキャナ機能（PC-SCANNER）：ファクシミリ装置100をコンピュータ装置101のスキャナとして利用する機能である。原稿をファクシミリ装置100の原稿読取部にセットし、操作部のスキャナ入力キーを操作すると、ファクシミリ装置100は、原稿を読み取り、Class 1のプロトコルに従

って、読み取った原稿をコンピュータ装置101へ送る。なお、このときのClass 1プロトコルにおけるTSIには自局ファクシミリ番号が組み込まれる。

【0005】②コンピュータファクシミリ機能（PC-FAX）：ファクシミリ装置100をコンピュータ装置101のモデムとして利用する機能である。公衆回線を介してファクシミリ装置100が受け取った原稿をコンピュータ装置101に取り込んだり、コンピュータ装置101で作成した原稿をファクシミリ装置100を介して公衆回線により遠隔地の相手ファクシミリ装置に送ることができる。なお、このときのClass 1プロトコルにおけるTSIには自局ファクシミリ番号が組み込まれ、CSIには相手ファクシミリ装置の番号が組み込まれる。

【0006】③プリンタ機能（PC-PRINT）：ファクシミリ装置100をコンピュータ装置101のプリンタとして利用する機能である。コンピュータ装置101で原稿を作成し、コンピュータ装置101側からファクシミリ装置100の自局番号をダイヤルする。ファクシミリ装置100は、コンピュータ装置101から送られた番号が自局ファクシミリ番号の場合には、前記原稿を印字部に印字する。

【0007】一方、近年においては、インターネットを利用した電子メールによる情報の伝達が活用されるようになってきている。インターネットを利用して電子メールを送信するには、パーソナルコンピュータ上でデータ（通信文）を作成し、インターネットソフトウェア（インターネット経由でファイルを送受信するアプリケーションソフト）により送信を行い、また、電子メールを受信するときには、インターネットソフトが起動中であれば、サーバに対して例えば一定時間毎にアクセスが行われてメールの有無がチェックされ、メールがあれば、読み出しソフトを起動させることにより、メールを読み込むことができるようになっている。

【0008】上記インターネットを利用する画像通信は、特に海外等の遠隔地を相手先とする場合に、ファクシミリ通信に比べて低コストで行えることが知られている。その一方、既にプリントアウトされた紙原稿を前記パーソナルコンピュータに読み取らせてインターネットを用いて送信する場合には複雑な操作を行わなくてはならないという欠点がある。

【0009】そこで、図4に示すように、公衆回線103に接続されたファクシミリ装置100とLAN（ローカルエリアネットワーク）104及びサーバ105を介してインターネットに接続されたコンピュータ装置101とを通信インターフェース（RS232C上で機能するClass 1など）102により接続するとともに、コンピュータ装置101にファクシミリ原稿データを電子メールに変換する機能を持たせることが考えられる。

[illegible][illegible]

行するようになっていてもよい。また、予め登録されている複数の番号の各々について順次送信を行うように構成されており、前記番号がファクシミリ番号であればファクシミリ送信を実行し、前記番号が短縮送信アドレスであれば前記コンピュータ装置を用いる送信を実行するようになっていてもよい。

【0018】また、この発明のコンピュータ装置は、上述した画像通信システムに用いられるコンピュータ装置であって、インターネットアドレスを入力するための入力手段と、前記インターネットアドレスを前記短縮送信アドレスに対応させて記憶する記憶手段と、前記ファクシミリ装置から送信されてきた前記短縮送信アドレスに基づいて前記記憶手段からインターネットアドレスを読み出し、送信先のインターネットアドレスを設定する手段とが備えられていることを特徴とする。

【0019】相手先への送信が実行できなかった場合には、その旨の情報をファクシミリ装置の自局ファクシミリ番号とともにファクシミリ装置に送信するようになっていてもよい。自局ファクシミリ番号が登録されていない場合、ファクシミリ装置から送られてきた短縮送信アドレスが規定に合っていない場合、ファクシミリ装置から送られてきた短縮送信アドレスに対応したインターネットアドレスが登録されていない場合など、不具合が生じたと判断された場合に、警告を発する警告手段を備えていてもよい。一つの短縮送信アドレスに対して複数のインターネットアドレスが登録できるようにしているとともに、前記複数のインターネットアドレスの相手先に順次送信を実行するようになっていてもよい。短縮送信アドレスを通信インターフェースのプロトコルにおけるTSI1信号にて受け取るようになっていてもよい。前記短縮送信アドレスに付加された付加情報を検出し、この付加情報が示す要求に従って送信を実行するようになっていてもよい。

【0020】また、この発明の画像通信システムは、回線に接続されるファクシミリ装置とインターネットに接続されるコンピュータ装置とを通信インターフェースを備える通信路を介して接続されており、前記ファクシミリ装置で読み取った画像データを前記通信路を介して前記コンピュータ装置に与え、短縮送信アドレスがインターネットアドレスの場合はこのコンピュータ装置にて前記画像データを電子メールに変換し、前記インターネット経由で相手先に送信し、短縮送信アドレスがファクシミリ番号の場合はファクシミリ装置をモデムとしてファクシミリ送信するようにした画像通信システムであって、前記ファクシミリ装置には、前記コンピュータ装置を用いる送信を行うときに相手先のインターネットアドレス又はファクシミリ番号を示す短縮送信アドレスを前記コンピュータ装置に送信する手段が備えられており、前記コンピュータ装置には、前記インターネットアドレス又はファクシミリ番号を入力するための入力手段と、

前記インターネットアドレス又はファクシミリ番号を前記短縮送信アドレスに対応させて記憶する記憶手段と、前記ファクシミリ装置から送信されてきた前記短縮送信アドレスに基づいて前記記憶手段からインターネットアドレス又はファクシミリ番号を読み出し、送信先を設定する手段とが備えられていることを特徴とする。

【0021】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図に基づいて説明する。

【0022】図1は、この発明の実施の形態における画像通信システムを示した概略の構成図である。この画像通信システムは、電話回線31に接続されるファクシミリ装置32と、LAN36及びサーバー37を介してインターネットに接続されるコンピュータ装置34とがR S 2 3 2 C (Class1)による通信路35を介して接続されて成るものである。

【0023】図2は、上記のファクシミリ装置32およびコンピュータ装置34の具体的構成を示したブロック図である。ファクシミリ装置32は、ファクシミリの基本構成部分である原稿読取部1、読み取った原稿データを圧縮(MH, MR, MMR等の方式)によるG3データ(生成)するデータ圧縮部2、G3データをファイル化して蓄積するG3ファイル部3、G3データを伸長するデータ伸長部4、伸長された原稿データを印字するプリント部5、送受信データの復調を行うFAXモデム6、公衆回線に接続されたNCU(網側制御ユニット)7、所定の内容を表示する表示部8、ユーザーにより操作される操作部9、相手先記憶部10、及び自局ファクシミリ番号記憶部11を備えている。

【0024】前記の操作部9には、テンキーやワンタッチキー等が配備され、また、前記の相手先記憶部10には、前記テンキー(短縮キー)やワンタッチキー等に対応して相手先ファクシミリ番号が記憶(登録)されるようになってはいるが、さらに、この発明にかかる機能として、短縮送信アドレス(インターネットアドレス自体ではなく、それを示す数値、#や\*などの記号、或いは文字かなる)の前記操作部9による入力と前記の相手先記憶部10によるその登録が行えるようになってはいる。ユーザーにて入力された情報が短縮ファクシミリ番号なのか、それとも短縮送信アドレスなのかは、前記操作部9に設けられている短縮送信アドレス確定キー9aにより指示できるようにしてある。詳細については後述する。

【0025】更に、この発明にかかる構成部分として、ファクシミリ装置32には、アドレス合成部12、TSI1信号記憶部13、ファクシミリ番号/短縮送信アドレス判別部14、及びファクシミリ送信/インターネット送信切換部15が備えられている。

【0026】前記のアドレス合成部12は、操作部9のキーにて入力された短縮送信アドレスに前記自局ファク

[illegible]



れば、表示部8に対して“自局ファクシミリ番号を登録して下さい”といったメッセージ文データを与えるとともにエラー音を発生させるべく図示しないエラー音発生部に信号を与える。そして、受信した送信原稿については、これをファイル変換部16にて電子メールファイルに変換し、ファイル記憶部17に記憶し(ステップ18)、スタンバイ状態に戻る。

【0038】自局ファクシミリ番号が記憶されている場合は、TSI信号の内容(短縮送信アドレス+自局ファクシミリ番号)に前記自局ファクシミリ番号と一致する部分があるかを判断する(ステップ9)。一致している部分がなければ前記のステップ18に進む一方、一致している部分があれば短縮送信アドレスが規定に合っているか(例えば、規定では3桁までとなっているのに4桁であるような場合など)否かを判断する(ステップ10)。

【0039】規定に合っていない場合には、表示部8に対して“送信短縮アドレスが不適当です”といったメッセージ文データを与えると同時にエラー音を発生させるべく図示しないエラー音発生部に信号を与える。そして、ステップ19に進む。一方、規定に合っていれば、前記短縮送信アドレスに対応するインターネットアドレスがインターネットアドレス記憶部21に記憶されているかを判断する(ステップ11)。記憶されていない場合は、表示部8に対して“送信短縮アドレスが登録されていません”といったメッセージ文データを与えると同時にエラー音を発生させるべく図示しないエラー音発生部に信号を与える。そして、ステップ19に進む。

【0040】ステップ19では、受信した送信原稿のファーストページの上部部に“送信できませんでした”という不達メッセージを付加し、自局ファクシミリ番号でダイヤルを行い、Class1プロトコルに従って、ファクシミリ装置32に送信する。即ち、ファクシミリ装置をプリンタとして機能(PPC-PRINT)させるときの動作を実行することになる。ファクシミリ装置32は、TSI信号の内容が自局ファクシミリ番号が否かを判断し(ステップ20)、自局ファクシミリ番号であればプリント部5にて印字を行い(ステップ21)、自局ファクシミリ番号でなければ、その番号の相手先に送信する(ステップ22)。即ち、コンピュータファクシミリ機能(PPC-FAX)を実行する。

【0041】前記のステップ11でインターネットアドレスが登録されていると判断された場合には、ファイル変換部16にて変換された電子メールを電子メールファイル18に蓄積し、前記インターネットアドレスの相手先に電子メールで送信する(ステップ)。

【0042】なお、前記ステップ18において記憶されたファイルは、例えば、ユーザがコンピュータ装置34においてインターネットソフトを立ち上げ、このコンピュータ装置34上で相手先のインターネットアドレス

を入力し、送信原稿として前記の記憶されているファイルの指定することにより、当該ファイルを所望の相手先に電子メールで送ることが可能である。また、ステップ8とステップ9でNOとされた場合にも不達通知送信のための処理(ステップ19)を行うようにしてもよく、また、ステップ10とステップ11でNOとされた場合にも受信した画像のファイル記憶処理(ステップ18)を行うようにしてもよいものである。

【0043】以上説明したように、ファクシミリ装置32側でインターネットアドレス自体を入力したり、登録したりする必要はなく、インターネットアドレスを示す短縮送信アドレスを入力したり、登録すればよいから、ファクシミリ装置32における操作パネル部の大型化や操作の複雑化、及びメモリ容量の増大といった不具合を解消できる。なお、コンピュータ装置34側ではインターネットアドレスを入力したり或いは登録したりする必要があるが、コンピュータ装置34では既述の機能、資源の活用にはすぎないので特に問題はない。また、この実施の形態では、Class1プロトコルにおけるTSI信号中に短縮送信アドレスを付加するので、Class1プロトコルをそのまま用いることができ、新たにプロトコルを作成するためのコストを削減することができる。

【0044】なお、上記のフローチャートでは、直接キー入力による相手先指定の例を示したが、先に述べたように、短縮番号やファンクチャキーや電話帳機能などにおいて前記短縮送信アドレス“000”を登録しておく、これらの短縮番号等を用いて送信してもよいのである。また、一つの短縮番号等にファクシミリ番号と短縮送信アドレスの両方を登録できるようにすることも可能である。例えば、短縮番号“11”に対して二つの記憶領域を設定しておき、短縮送信アドレス確定キー9aが押された場合には短縮送信アドレスとして認識し、短縮送信アドレス確定キー9aが押されずに例えば通常の確定キーが押された場合などにはファクシミリ番号として認識することができる。また、短縮送信アドレスをファクシミリ番号と区別するために短縮送信アドレスに自局ファクシミリ番号を付加するようにしたが、この自局ファクシミリ番号に限らず、“#”や特定の数字或いは文字などを識別用に付加するようにしてもよい。

【0045】また、ファクシミリ通信機能として、同報送信機能やプログラム送信機能が知られているが、これらの機能における複数の相手先として、ファクシミリ通信相手に限らず、インターネットによる相手先を登録できるようにしてもよいものである。この場合、登録されている相手に対して順次送信処理が実行されるが、ファクシミリ通信相手であれば通常のファクシミリ通信処理を実行し、インターネットによる相手先であればその都度コンピュータ装置34と通信して上述のごとく、電子メールによる送信を行うようにすればよい。更に、コ

化や操作の複雑化、或いはメモリ容量の増大といった不  
良を解消できると、優れた効果を奏する。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の画像通信システムにおけるフラスミ

ニ装置及びコンピュータ装置とコンピュータとの接続関係を示した

ブロック図である。

【図2】この発明の画像通信システムにおけるフラスミ

装置を示したブロック図である。

【図3】この発明の画像通信システムにおける送信時の

接続関係を示したブロック図である。

【図4】従来のフラスミ装置とコンピュータ装置と

から成るシステムの概略図である。

【図5】従来の画像通信システムにおけるフラスミ

装置とコンピュータ装置との具体的な構成を示したブロック

図である。

#### 【符号の説明】

3 G3ポート部

8 表示部

9 操作部

9a 短縮送信フラスミ決定キー

10 相手先記憶部

11 自局フラスミ番号記憶部

12 フラスミ合成部

13 TSI信号記憶部

14 フラスミ番号/短縮送信フラスミ判別部

15 フラスミ送信/インターネット送信切換部

16 フラスミ変換部

17 フラスミ記憶部

18 電子メールアドレス

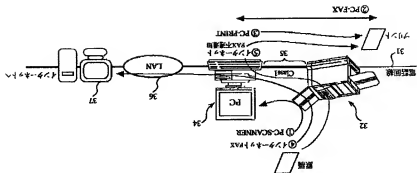
19 LANインターフェース

20 登録操作部

21 インターネットフラスミ記憶部

22 自局フラスミ番号記憶部

23 短縮送信フラスミ検出部



【図1】

いから、フラスミ装置における操作パネル部大型  
ットフラスミを示す短縮送信フラスミの入力、登録によ  
を入れたり、登録しなくてはならない。インター  
ば、フラスミ装置でインターネットフラスミ自体

【発明の効果】以上説明したように、この発明によれ

【0048】

フラスミ送信するようにするようになっている。

り番号の場合はフラスミ装置をモジュールとしてフ  
経由で相手先に送信し、短縮送信フラスミがフラスミ  
画面データを電子メールに変換し、前記インターネット  
ターネットフラスミの場合はコンピュータ装置にて前記  
させて記憶しておく。そして、短縮送信フラスミがイン  
において、フラスミ番号も短縮送信フラスミに対応

【0047】なお、インターネットフラスミ記憶部21

はよい。

解読し、8時40分以外に送信を開始するようにしてい

置34の制御部は、上記の付加情報(0840)を抽出

0)とすることである。そして、コンピュータ装

フラスミ番号+空白+付加情報(例えば、0840

例えは、TSI信号の内容を、短縮送信フラスミ+自局

34付加情報(コソフ)を送る。この付加情報は、

行うこともできる。例えはコンピュータ装置34側で行

可能である。この機能をフラスミ装置側で行うこと

【0046】また、フラスミ装置では、時刻指定送

信のふり付け付加情報機能が知られているが、この付加情

にたいしては、前記一つの短縮送信フラスミがフラス

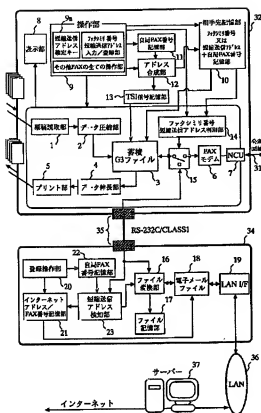
に対して複数のインターネットフラスミの登録が行える

システム装置34において、一つの短縮送信フラスミ

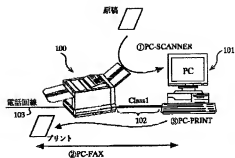
システム装置34から送られてきたときには、前記複数の

システム装置34において、一つの短縮送信フラスミ

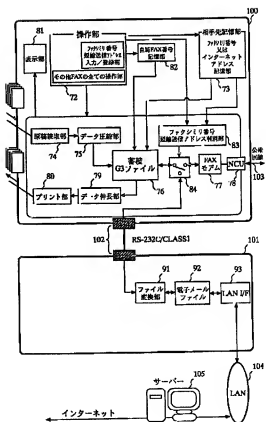
【圖2】

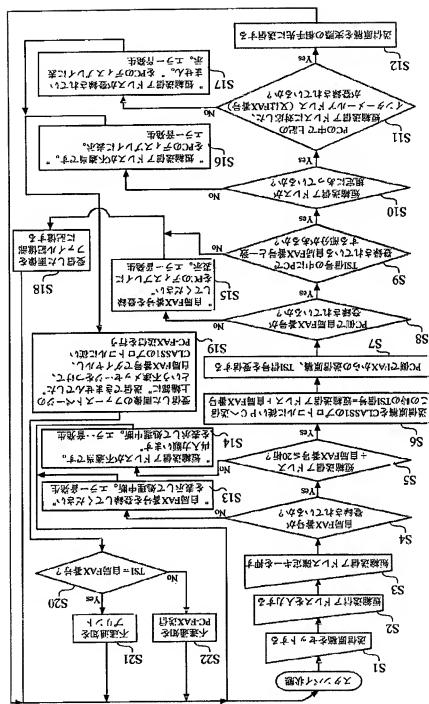


【图4】



【图5】





フロントページの続き

(51)Int. Cl.<sup>6</sup>

H04M 11/00

H04N 1/32

識別番号

303

FI

H04L 11/20

101C